

1. 市民意見の整理と今後の進め方

これまで寄せられた市民からの意見（意見交換会での意見メモや当日の発言、メールや郵送で寄せられた意見）のうち、当部会で議論すべき事項を以下に抽出を行った。

項目		主な市民意見	これまでの検討経過と 本日の検討事項
2) 施設計画	施設のあり方	① 新しいアイデアを入れたりして全国のモデルになれば良いと思う。あくまでも市民の側から見た建設をよろしく願いたい。 ② 安心で安全な施設であれば、良いことだと思う。更なるイメージアップというプラスαも加わるので、それなりにお金もかかるであろうが、相応の価値があれば良いと思う。 ③ 次の世代の市民がなるほどと思ってくれるような施設であってほしいと思う。多くの市民が納得し受け入れられる施設を是非進めて頂きたい。 ④ 町田はずごいねと言われる様な施設にしてほしい。	・排ガスの自主規制値の設定（運転管理目標値は、周辺住民と協議して設定。） ・安心できるお約束、しくみづくり、リスク管理 <div style="border: 1px solid black; padding: 10px; text-align: center;"> 【本日の検討事項】 施設の副次的機能 </div>
4) バイオガス化施設	施設のイメージ・理解	⑩ バイオガス化することによって投入したごみが減れば良いが、水を入れるから結局増えるのではないかと思う。そうすると、ごみは結局燃やして処分する他に手はないのではないか。そうすると、変な臭いも出る。危険がある設備を造るよりは、最初から燃やす設備を造って、効率のよい発電機を回した方が得策じゃないかと思う。	・バイオガスの活用方法 CNG車（ごみ収集車、コミュニティバス）の燃料、都市ガス ・再生可能エネルギーの固定価格買取制度の導入により、バイオガス化の買取価格（39円/kWh）は、ごみの焼却余熱利用による発電の買取価格（17円/kWh）よりも有利。 <div style="border: 1px solid black; padding: 10px; text-align: center;"> 【本日の検討事項】 バイオガスの活用方法 </div>
6) エネルギーの利用	エネルギーの利用方法	① 売電利益で太陽光発電を増やせば再生可能エネルギーを作る施設（太陽光発電所）を増やす事に繋がり、町田市内のエネルギー自給率自体を押し上げていくという事になるのではないか。 ② 発電利益をすべて太陽光発電の補助金に充当したらよいのではないか。 ③ エネルギーの使い方について、公共の施設や交通機関などに有効に利用してほしい。 ④ 施設で生成された電気、都市ガスは、建設地周辺の産業支援（農業や企業団地etc）を目的として活用する考え方はないのか。 ⑤ 電気の使用先の一つに、公共バスをぜひ挙げたい。地元還元だけでは、市民に実感がわかないと思う。 ⑥ エネルギーの有効活用に関して、バイオガス化からDME（ジメチルエーテル）合成という手法もある。DMEはLPG同様の液化ガスでCNGに比べて扱いやすく、ディーゼルエンジンに適用でき、既存のCNGエンジンに比べて熱効率が高く、環境性能に優れた燃料である。海外でも自動車への活用が検討されている。	<div style="border: 1px solid black; padding: 10px; text-align: center;"> 【本日の検討事項】 エネルギーの活用方法 </div>
	売電計画	⑦ 現行での売電状況、計画での売電はどうなっているのか。 ⑧ 電力量と、その消費先をもう少し詳しく教えていただきたい。どこへどれだけ使われるのか。	・エネルギーを積極的に回収し、高効率発電を行う。

項目	主な市民意見	これまでの検討経過と 本日の検討事項
7) 施設の副次的機能	① 防災拠点として整備する場合、万が一、熱回収施設が被災した場合の衛生面への配慮を忘れないでいただきたい。	<ul style="list-style-type: none"> ・環境学習の場 ・資源化推進活動の拠点 ・防災拠点 ・防災備蓄倉庫
	② ごみを減量していこうという気持ちになる市民が増えるように啓蒙・啓発にも力を入れてほしい。その啓蒙・啓発を行えるような研修室やごみ処理場の見学ルートなども充実してほしい。	<div style="border: 1px solid black; padding: 10px; width: fit-content; margin: 10px auto;"> <p>【本日の検討事項】</p> <p>施設の副次的機能</p> </div>
	③ 建設予定地周辺のメリットとして、電気、ガス等を災害時のライフラインとして利用することができる内容を検討してほしい。	
	④ 熱回収施設には温水プールを建設してほしい。	
	⑤ 基本理念にある「ごみになるものを作らない・燃やさない・埋めたてない」の中の「ごみになるものを作らない」取り組みのアピールが出来る様なスペースは何か考えているのか。	
	⑥ 資源ごみの衣類についてだが、ある自治体では市民同士が交換したり、売ったりできる場所があると聞いたことがある。町田市でも検討してもらいたい。	
	⑦ これから施設を造るときに援助物資を入れる防災倉庫のようなものを施設の中に組み込んでいただきたい。	
	⑧ 高齢者福祉対策に資するものにしてほしい。	
	⑨ 福祉関係の活動をする拠点が無い。そういう活動の拠点になるようにしてほしい。みんなが集える場所について検討してほしい。	

2. 付帯機能の分類・整理(案)

熱回収施設等や資源ごみ処理施設に備える付帯機能には様々なものがある。意見交換会で得られた市民意見等を踏まえ、当該施設内外の区別を考慮して、以下のように分類・整理した。

		当該施設内での利用	施設外（周辺地域）での利用
(1) エネルギー供給	電力供給	①電気自動車への充電スタンド ②電力会社への売電 ③太陽光パネルの設置	④周辺家庭への供給 ⑤電気コミュニティバスへの活用
	熱供給	①蒸気式空気予熱器 ②タービン発電機の動力源（蒸気） ③場内給湯	④地域冷暖房 ⑤周辺施設への供給 ⑥周辺家庭への供給
	バイオガス供給	①発電用の燃料としての利用 ②発酵槽加温用熱源	③CNGのコミュニティバスへの活用 ④都市ガスとして販売利用 ⑤一般家庭への圧力容器での供給
(2) 防災機能		①備蓄倉庫（食料、水など） ②非常時のエネルギー供給（電気、熱、ガス） ③燃料供給基地（灯油、ガソリン、軽油） ④避難所	⑤警察・消防・自衛隊等の救出救助部隊の活動拠点
(3) 環境啓発機能		①環境学習・施設見学 ②環境講座 ③リサイクル品の展示販売	
(4) まちづくり機能		①会議室 ②市民活動の拠点	
(5) 地域のシンボル	デザイン	①外観デザインの工夫	
	煙突の利用	①展望台	
	緑化	①屋上緑化	

【説明】

(1) エネルギー供給

・熱回収施設での発電による電気や焼却熱からの蒸気利用及びバイオガス化施設のバイオガス利用については、場内利用ができるものはコスト削減のために利用し、その他は建設予定地の周辺住民を交えた協議会等で検討します。

(2) 防災拠点としての廃棄物処理施設

・熱回収施設は、一般的に大規模電力供給、熱供給できる施設です。地震等の場合、熱回収施設は一旦、

緊急停止しますが、安全が確認できれば、停電時でも非常用発電機を用いて炉の運転を再開して発電し、自立運転を行い十分な電力を確保します。電力が確保されることにより電灯・冷暖房が確保されます。

- ・防災倉庫として水・食料・毛布等の備蓄を行い、炊き出しが行える機能を確保することが可能です。
- ・平常時に環境啓発機能としての環境学習や施設見学で使用する会議室やまちづくり機能としての市民活動の拠点のフリースペース等を設置した場合、災害時に一時避難所として転用活用できます。
- ・熱回収施設には、常時職員等が使用する浴室や洗濯室がありますので災害時に使用することができます。
- ・その他防災機能については、建設予定地の周辺住民を交えた協議会等で具体的に検討します。

(3) 環境啓発機能

- ・リサイクル広場拡充の検討などが可能です。

(4) まちづくり機能



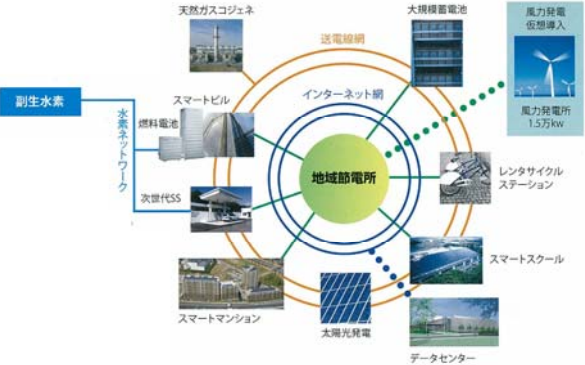
- ・処理施設内の会議室を市民活動の拠点として開放することが可能です。

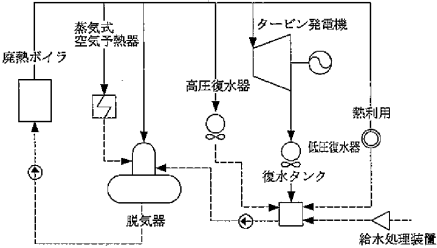

(5) 地域のシンボル

- ・地域のシンボルとしてのデザインや緑化についても建設予定地の周辺住民を交えた協議会等で検討します。


【具体例】

(1) エネルギー供給

	当該施設内での利用	施設外（周辺地域）での利用
電力供給	<p>①電気自動車への充電スタンド</p>  <p>電気自動車への充電スタンド (町田リサイクル文化センター)</p> <p>②電力会社への売電（売電収益は様々な活用が考えられる 例）太陽光パネル設置の補助金)</p> <p>③太陽光パネルの設置</p>  <p>太陽光発電パネル (世田谷清掃工場環境報告書 2011 より)</p>	<p>④周辺家庭への供給</p> <p>現時点では、電気事業法上、総合特区や実証事業でなければ一般需要家への直接電力供給はできないが、法の改正等を注視していく。</p>  <p>北九州スマートコミュニティ創造事業 (次世代エネルギー・社会システム実証)</p> <p>⑤電気コミュニティバスへの活用</p>

<p>熱供給</p>	<p>①②蒸気式空気予熱器、タービン発電機の動力源（蒸気）</p> <p>ボイラー設備の構成</p>  <p>蒸気タービン設置の場合の熱供給</p>  <p>蒸気タービン</p> <p>③場内給湯 熱回収施設内の風呂等へのお湯の供給</p>	<p>④地域冷暖房</p>  <p>東京熱供給㈱ （光が丘清掃工場から熱供給） ：練馬区光が丘5丁目などに供給</p> <p>⑤周辺施設への供給</p>  <p>町田市立室内プール （町田リサイクル文化センターの余熱を利用）</p> <p>⑥周辺家庭への供給（事例調査中）</p>
<p>バイオガス供給</p>	<p>①発電用の燃料としての利用 ガスエンジン等へメタンガスを供給し発電を行う。 ②発酵槽加温用熱源</p>	<p>③CNGのコミュニティバスへの活用 ④都市ガスとして販売利用 ⑤一般家庭への圧力容器での供給（熊本県山鹿市・鹿児島県垂水市等で実証実験中）</p>

(2)防災機能

当該施設内での利用	施設外（周辺地域）での利用
<p>①備蓄倉庫（食料、水など） ②非常時のエネルギー供給（電気、熱、ガス） ③燃料供給基地（灯油、ガソリン、軽油） ④避難所</p>	<p>⑤警察・消防・自衛隊等の救出救助部隊の活動拠点</p>  <p>陸上自衛隊による現地確認 （杉並清掃工場）</p>

(3)環境啓発機能

当該施設内での利用

①環境学習・施設見学



多摩清掃工場の見学会の様子

②環境講座

③リサイクル品の展示販売

(4)まちづくり機能

当該施設内での利用

①会議室

②市民活動の拠点

(5)地域のシンボル

デザイン

①外観デザインの工夫（デザインを市民から公募するなどの工夫が考えられる）



←有明清掃工場（左）



葛飾清掃工場（右）→

煙突の利用

①展望台



富山地区広域圏クリーンセンター

緑化

①屋上緑化



中央防波堤埋立処分場にある中防灰溶融施設における屋上緑化
（東京二十三区清掃一部事務組合）